

*A História e as Perspectivas
do Intercâmbio Bilateral*

交流の歴史と展望

日本人ブラジル移住百周年を記念する「日本ブラジル交流年二〇〇八」に合わせ、ブラジルと日本の交流の歴史をたどり今後を展望します。ごく最近まで移民の送り出し国であった日本をふり返るとともに、移民の受け入れ国に変わった現在、日本がめざすべき多文化社会について考えます。

国立民族学博物館公開講演会

日伯交流年事業

ブラジルと日本



2008年10月17日[金] 18:00-20:10 [開場 17:00]

会場：日経ホール（日本経済新聞社ホール）

東京都千代田区大手町1-9-5 日本経済新聞社ビル内

定員：600名 参加費：無料

写真提供：株式会社商船三井、JICA横浜 海外移住資料館、庄司博史

注意事項 会場には必ず参加証をご持参ください。参加証はお一人様一枚となっております。参加証がない方は会場には入れませんのでご注意ください。

主催：国立民族学博物館・日本経済新聞社 後援：外務省・駐日ブラジル大使館

Brasília e Japão — 交流の歴史と展望 — A História e as Perspectivas do Intercâmbio Bilateral

国立民族学博物館公開講演会
日伯交流年事業

プログラム

- 17:00~18:00 受付
- 18:00~18:05(5分) 開会:日本経済新聞社大阪本社編集局長 川合 英雄
- 18:05~18:10(5分) 挨拶:国立民族学博物館長 松園 万亀雄
- 18:10~18:45(35分) 講演1 中牧 弘允「われら日本人、新世界に参加す」
- 18:45~19:20(35分) 講演2 アンジェロ・イシ「われらブラジル人、日本社会に参加す」
- 19:20~19:35(15分) 休憩
- 19:35~20:10(35分) パネル・ディスカッション 中牧 弘允×アンジェロ・イシ(司会:庄司博史)

「われら日本人、新世界に参加す」

演題は、ブラジル移住70周年の折、当時国立民族学博物館長だった梅棹忠夫氏がサンパウロで講演したときの標語です。新世界への移住は新文明への参加であり、日本人もその文化的特質をたずさえて国家形成に寄与したというテーゼです。それから30年、国策移住はなくなりましたが、参加の度合いはすすんでいます。あらためて日本人の海外移住の文明史的意義を問いたいとおもいます。



中牧 弘允
国立民族学博物館
民族文化研究部 教授

1970年以来、北海道、ハワイ、カリフォルニア、そしてブラジルへとわたった日本人を追いかけてきた。JICA横浜の海外移住資料館の創設にかかわり、旧神戸移住センターの再整備にも関与している。主著に『日本宗教と日系宗教の研究—日本、アメリカ、ブラジル』(89年、刀水書房)、編著に『陶酔する文化—中南米の宗教と社会』(92年、平凡社)、近著に『カレンダーから世界を見る』(08年、白水社)、『会社のカミ・ホトケ』(06年、講談社)などがある。



アンジェロ・イシ
武蔵大学
社会学部 准教授

「われらブラジル人、日本社会に参加す」

日本には今、32万人以上のブラジル国籍者が在住しています。その大多数は、日本からブラジルへ移住した日系人の子孫です。彼ら彼女らの滞日期間は確実に長期化し、その活動の幅と可能性も多様化しています。本講演では、このような在日ブラジル人一世や、日本で生まれ育っている在日ブラジル人二世による日本社会への貢献や今後の可能性について紹介したいとおもいます。

日系移民や在日ブラジル人のメディアやコミュニティ形成について、国際社会学の視点から調査を行ってきた。近年では日系ブラジル人の新世代の芸能人や各国に離散したブラジル移民に関する研究に取り組んでいる。単著に『ブラジルを知るための55章』(01年、明石書店)、共著に『Global Japan』(03年、RoutledgeCurzon)、『移動する人々、変容する文化』(08年、お茶の水書房)などがある。

司会/庄司 博史 国立民族学博物館 民族社会研究部 教授

専門は言語学、言語政策論。近年では日本の多民族化やそれともなう多言語化現象について研究している。04年春、民博にて特別展「多みんぞくニホン—在日外国人のくらし」を企画した。編著に『多みんぞくニホン』(04年、千里文化財団)、共編著に『日本の多言語社会』(05年、岩波書店)などがある。



参加申込方法

「10月17日講演会参加希望」と明記の上、①郵便番号、②住所、③氏名、④連絡先電話番号、⑤今後の講演会などのご案内送付希望の有無を記載し、ハガキ、FAX、メールにてお申し込みください。2名様以上でお申し込みの場合は、それぞれの方の①~⑤を必ず明記してください。手話通訳をご希望される場合は、お席をご用意いたしますのでお申し込みの際に必ずご記入ください。なお、応募者が多数の場合はご参加いただけない場合もあります。9月下旬に参加証を発送する予定です。
※参加申込をいただいた方の個人情報、参加証の発送、次回以降の講演会などのご案内に使用いたします。

宛 先 〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1
FAX:06-6878-8479 E-mail:koenkai@idc.minpaku.ac.jp

問合せ先 国立民族学博物館 研究協力課研究協力係
TEL:06-6878-8209 URL:http://www.minpaku.ac.jp/

みんなく
携帯
サイト



★手話通訳あり



●地下鉄丸の内線大手町駅A1出口より左前。●地下鉄千代田線、都営三田線大手町駅下車C1出口より徒歩約5分。●地下鉄東西線大手町下車A4出口より徒歩約3分。●JR東京駅丸の内側北口より徒歩約10分。●JR神田駅西口から、西口商店街を直進、外堀通りを左折、徒歩約10分。※当ホールには駐車場がありませんので、他の交通機関をご利用ください。